

プラハカトリエンナーレ PQ2023 企画書

2022年6月 JATDT PQ2023実行委員会作成



8-18. june.2023 PRAGUE

目次

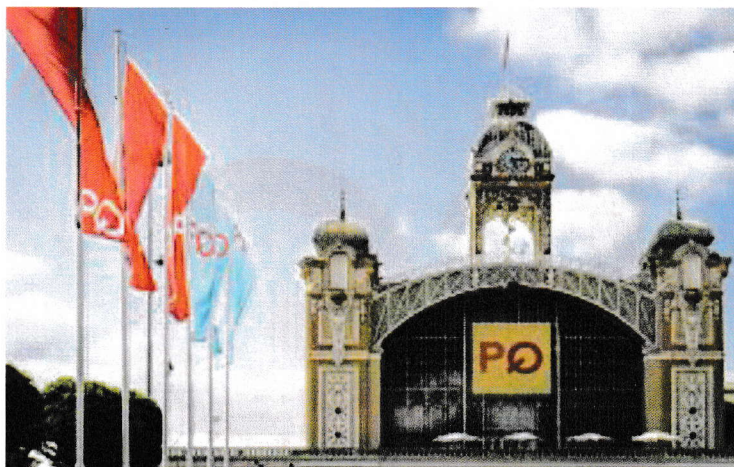
- ◆ PQ2023とは
- ◆ PQ2023が目指すもの
- ◆ PQ2023のテーマ
- ◆ PQ2023 JAPANのコンセプト
- ◆ A)ナショナルブース Exhibition of Countries & Regions
- ◆ B)学生ブース Student Exhibition
- ◆ 開催場所
- ◆ PQ2023の開催日程詳細
- ◆ 組織概要

JATDT

一般社団法人 日本舞台美術家協会
Japan Association of Theatre Designers & Technicians

■ PQ2023 (プラハカドリエンナーレ／Prague Quadrennial)とは

Prague Quadrennial (通称：PQ) は、チェコ共和国の首都プラハで4年に1度開催される舞台芸術の国際的なイベントです。世界70ヶ国以上から、演劇、ダンス、オペラ、パフォーマンスアートや新たに生まれた舞台芸術など、様々なジャンルのスタッフワーク (舞台美術/衣裳/照明/音響/建築など) が一堂に集まり、展示コンセプトに沿って現代を反映したパフォーマンスや空間演出を提供します。日本舞台美術家協会の参加は今から61年前、PQの前身である1961年の第6回サンパウロ・ビエンナーレまで遡り、前回の2019年まで連続して出展しています。また同時に、学生展示の企画も行い、舞台芸術を専攻する各大学の学生達にも国際展参加の機会を提供しています。



■ PQ2023が目指すもの

《パンデミック、新たな戦争、世界をとりまく現状とPQ2023が目指すもの...》

4年に一度開催されるPQは、各国が一堂に会する展示から創造的・技術的な刺激を受け、舞台芸術の「世界」と「今」を感じる貴重な場所です。その刺激は日本の舞台美術が未来へ進むための原動力にもなってきました。2020年のパンデミックを体験した今回のPQ2023は、私たちに、芸術性、想像力、創造力を駆使して、この後の世界と劇場がどのような姿になりうるかを描くよう呼びかけています。今日の世界の状況によって人々の生活に持ち込まれた困難、制約、距離、そしてトラウマを克服するために、その先の未来に、人々が喜び、再び人間的なふれあいを保つ環境を創造する試行の場になることを目的としています。PQ2023は、同じ空間で出会う機会を奪われてきた私たちに、バーチャルな仮想空間から、人と人が実際に会えるリアルな体験の場に再び移行する貴重な機会を与えようとしています。

■ PQ2023のテーマ

《 共通テーマは **RARE** 》

RARE imagination and creativity to help us envision what the world and theatre could look like in the post-pandemic future.

- ・ 国と地域の展示：RARE Visions 「未来のまねな展望を想像、視覚化し創造する」
- ・ 学生と新人の展示：RARE Stories of Unique Places 「独自の空間でのまねな物語」

■ PQ2023 JAPAN コンセプト

プラハ、世界《RARE》⇔《MARE》日本

劇場が閉鎖され、都市機能が全て止まり、仲間たちと語り合えない…、我々はパンデミックによって極限状態とも言える不安と孤独を体験しました。加えて、21世紀の新たな戦争の勃発は世界中に暗い影を落としています。新たな変化を余儀なくされつつある今、舞台上で表現すべきこと、そしてこの先にあるものを想像しながら、再生と繋がりを願い、暗い時代を乗り越えて希望を分かち合うための新たな舞台芸術の萌芽を示したいと思っています。

◆ RARE を希 (MARE) と捉える

『希』は「非常に珍しい」と同時に「こいねがう」という祈りの様な意味も持ちます。

人類はこれまでの長い歴史の中でも、幾度となく危機的な事態を乗り越えてきました。その度に平和と再生を切望し、克服の過程の祈りのなかで新たな芸術が芽生え、人々はその芸術の祝祭性によって励まされてきました。今回のPQ2023のテーマである『RARE』を漢字の『希』に置き換え、劇場が空っぽになってしまったあの日々を思い返ししながら、ポストパンデミックの時代を乗り越える新たな舞台芸術の可能性を求めて、この希に見る事態を希望的な転機に変える糸口を探りたいと思います。

◆ 世界と繋がる窓

『窓』は世界と接するフレーム＝劇場のプロセニウムでもあります。

コロナで物理的に制限されることが多くなった反面、オンライン化により距離や時間の概念が加速度的に変化したことは、2020年代の特徴ともなり得ます。私たちはこのデジタルインテリジェンスという窓を持ったことにより、文化的・物理的に距離があった世界各国と、今までとは違う繋がり方を築く手段を手に入れることになりました。それでもなお、仲間と空間を共にする喜びを再認識し、求めてもいます。リアルな窓とバーチャルな窓、人類のコミュニケーションは今後どのような展開を見せるのでしょうか。人と人、文化と文化を繋ぐことは、“物理的な距離”だけでなく“心の距離”も縮め、平和や希望といった未来を繋げる事になるのです。

◆ 日本のパフォーミングアート・芸能の根源

閉じてしまった窓を開いて、世界と繋がりよう！

日本の芸能の原初には扉や窓のイメージがあります。天岩戸を再び開き、太陽の光を取り戻すため、アメノウズメノミコトが行ったパフォーマンスは日本の芸能の起源とも言われています。太陽がもう一度世界を照らし人々が元気を取り戻したように、災害・疫病・飢饉等、禍い何度となく起こる度に、芸能・パフォーミングアートの力を駆使してそれを克服してきた歴史があります。コロナ禍により閉じてしまった窓を扉をもう一度開いて、舞台芸術が切り開く未来の光が見えることを希います。

■ ナショナルブース Exhibition of Countries & Regions

《JATDTの会場》

- ◆ 「希」「窓」のキーワードを手掛かりに、複数の舞台美術家のコラボレーションによるデザインでブースを構築します。舞台の空間創りに欠かせないインスピレーション、デザイナーそれぞれの感性から生み出される言葉とイメージを繋ぎ合わせながら、コロナ禍での思いを共有しあい、テーマの視覚化に挑戦します。普段各々の舞台形式と地域性のなかで、異なった作品を創り上げているデザイナーたちの共同作業は、日本における様々なスタイルの舞台表現が集結した**希な空間**を出現させるかもしれません。



- ◆ ブースの場所 : Block.17 2階フロア
- ◆ サイズ : 約20平米の天窓のある角空間

■ 学生ブース Student Exhibition

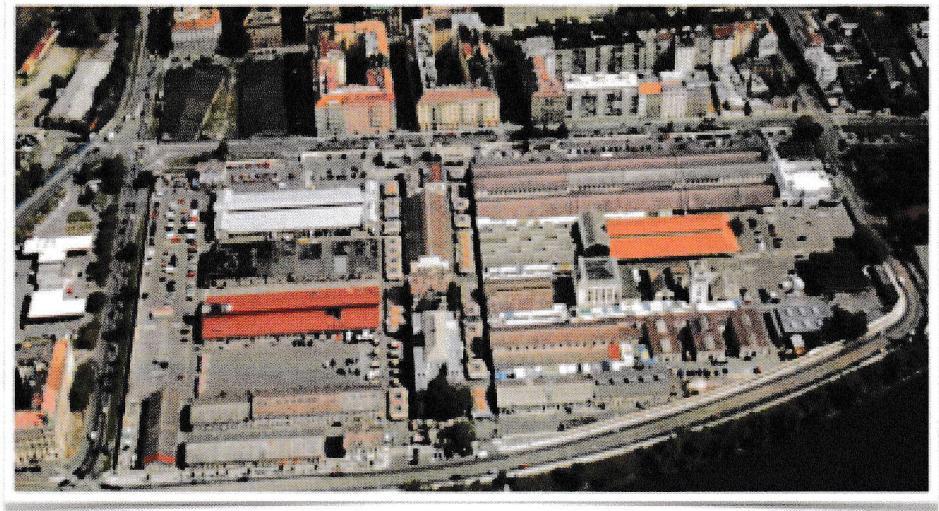
- ◆ 会場には「窓」のイメージが設定されています。その「窓」がプロセニウムアーチの役割を果たし会場が舞台となります。そこでは日本の学生たちがパフォーマンスや日本の演劇文化の紹介をします。その「窓」を開いて、プラハと日本がオンラインで、リアルタイムで繋がることもできます。リアルタイムなので質問や会話といったコミュニケーションも可能です。参加予定の7大学の学生たちと共に、日本とプラハという距離の障壁を外した、**繋がる「窓」**を創り出します。



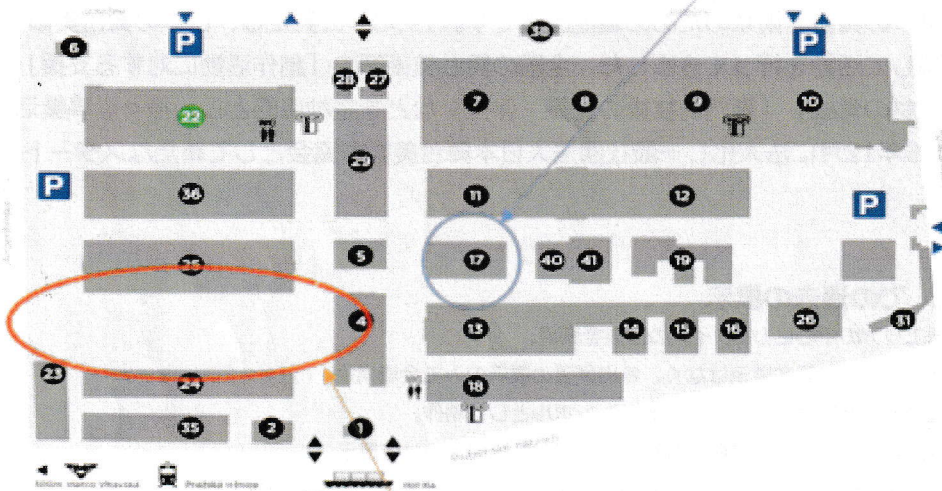
- ◆ 場所 : 会場内のマーケットスクエア（屋外広場）
- ◆ サイズ : 最大で25 平米(5 x 5 m)

■開催場所

PQ 2023のメイン会場 : The Prague Market (Pražská tržnice) プラハ市場



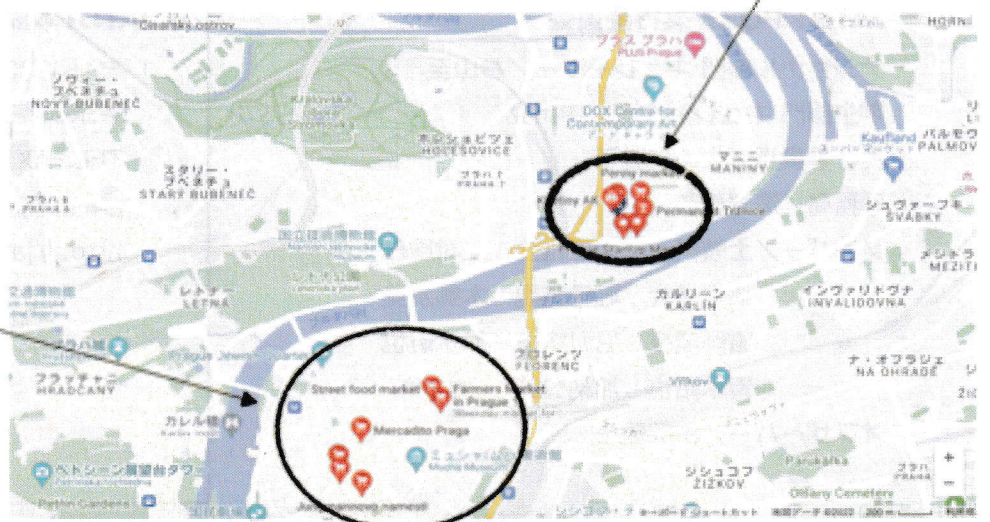
「国と地域の展示」エリア 建物内



「学生と新人展示」エリア プラハ市場の野外広場

PQ23 メイン会場

プラハ旧市街
(中心地)



■ PQ23開催スケジュール

- ◆ 会期／2023年6月8日－6月18日
- ◆ 仕込み期間／6月5日午前8時－6月7日17時まで（22時完全退館）
- ◆ オープニングイベント／6月7日
- ◆ バラシ日／6月18日17時開始（PQ展正式終了後）

■ 組織概要

JATDT (Japan Association of Theatre Designers & Technicians)

一般社団法人 日本舞台美術家協会

◆ JATDTとは

舞台芸術において視覚的・美術的立場から演出に参画する創作者と技術者、ならびに舞台美術教育者や研究者が集まった、国内唯一の舞台美術家のための職能団体です。1958年に発足し、日本の舞台美術家の創作環境の向上を目指して活動を行ってきました。全国の舞台美術家の「創作活動に対する支援」「社会的地位の確立」「人材の育成」「専門的技術の記録・保存」などを主な目的とし、様々な事業活動を行なっています。2019年12月に法人化し一般社団法人日本舞台美術家協会として新たなスタートを切りました。

◆ プラハカドリエンナーレ での過去の展示

- 1995年 第8回 展示エリアの中心に1/1サイズの土俵を表現。
- 1999年 第9回 総合的な意図を示す展示はなく、各出展者の展示のみで会場構成。
- 2003年 第10回 大量の割り箸を使用したオブジェをシンボルとして制作。
- 2007年 第11回 展示会場に回転すしの屋台を設置し、模型作品を皿にのせて展示。
- 2011年 第12回 舞台美術家達によるフィジカルアートの要素を持ったパフォーマンス公演を発表。
- 2015年 第13回 学生との共催。フィジカルアートの要素を持ったパフォーマンスを学生自らが考案。
- 2019年 第14回 江戸時代の玩具－立版古を升に収めたオブジェを設置。

◆ JATDT PQ23 実行委員会

ナショナル部門 キュレーター／杉山至
学生部門 キュレーター／中川晃
実行委員長／佐々波雅子
事務局／清野佳苗
メンバー／土岐研一 太田雅公 二村周作
鈴木謙介 堀田充規 本郷友美
宮岡増枝 尼川ゆら 鈴木達也
青木拓也 加納豊美 （順不同）
オブザーバー／伊藤雅子

◆ JATDT本部事務局

〒151-0066
東京都渋谷区西原1-28-4 興和ビル203
TEL.FAX. 03-6300-9104
E-mail : info@jatdt.or.jp
<http://jatdt.or.jp/>

JATDT

一般社団法人 日本舞台美術家協会
Japan Association of Theatre Designers & Technicians